

インフルエンザ 対策

今、「新型インフルエンザ」対策が盛んに叫ばれております。厚生労働省では、最悪のケースで65万人の死者を想定した対策をたてています。

予防接種を受けても、完全に発症を阻止できるわけではありません。感染した場合の対処法を徹底することも大切ですが、何より正しい予防法を毎日気をつけていくことが大切です。

	通常のかぜ	インフルエンザ
主な症状	のど痛・くしゃみ・鼻のムズムズ感、水のような鼻水、全身症状は軽い	突然38℃以上の発熱・頭痛 関節痛・筋肉痛・咳・鼻水・のど痛 強い疲労感などの全身症状
その他の特徴	発熱もあるが、インフルエンザほど高くなく、重症化することはめったにない。	肺炎などを併発し、重症化することが多い、短期間に小児から高齢者まで感染が広がる。高齢者の死亡率が高まる。

★ 一般的なインフルエンザの治療法

- 一般療法・・・できるだけ安静にし、十分な睡眠と栄養をとり体力をつける。室内湿度を50～60%に保ち、ウイルスの活動を抑える。水分補給を十分にし、脱水症状を予防する。
- 対症療法・・・解熱鎮痛薬、鎮咳去痰薬などを症状にあわせて用いる。しかし、かぜに伴う諸症状は、体内のウイルスを体外へ追い出そうとする体の自然の反応です。安易に解熱鎮痛薬を使用すると治りが遅くなるという報告があります。
- 抗生物質・・・風邪の原因のほとんどはウイルス。抗生物質は細菌には効果がありますが、ウイルスにはまったく効きません。では、なぜ抗生物質が出されていたのでしょうか。細菌の二次感染を防ぐため、とも言われていますが、これは科学的根拠に乏しいという指摘もあり、「抗生物質の使用は必要最小限に」というのが主流で **安易な服用は逆効果**とも言われています。
- 化学療法・・・症状が出て48時間以内であれば、抗ウイルス薬(タミフル)を使用します。医療機関でのみ処方されます。
※副作用として、意識障害などが現れることもありますので、異常が認められた場合にはすぐに中止し、医師に相談することが必要です。

★ 新型インフルエンザ（鳥インフルエンザなど）

過去100年で3回世界的大流行があり、1,000万人単位の多くの死者が出ましたが、現代においてもその決定的対策はありません。ただ感染した人全員が死亡する訳でも、すべての人間が感染する訳でもありません。つまり日常からの養生で自分自身の防御力と免疫力を高く保っておくことが最重要だと言えます。

★ 各ウイルスに対抗する為には

最近では、風邪やインフルエンザ、肝炎、腎炎・・・だけでなく神経痛の一種にも「ウイルス」が関わっていることがわかってきました。人の体の細胞に入り込もうとするのがウイルスです。ですから常に免疫という力を万全にしておかなくてはなりません。

私どもではこういったウイルス性症候群に、グロスミン、霊梅参、メシマコブ、サメミロン、漢方など様々なアイテムで対応しています。お気軽にご相談下さい。

「自分の体は自分で守り、自分で治す」という意識をもつていただくとともに、皆様の体の力を引き出す為に、くすりのキュートとして何かアドバイスできればと日夜考えております。